

ダイバーシティを尊重する地域づくりと人材育成を目指して

いちやり場通信



医療通訳者養成講座を 実施しました！



全5回からなる医療通訳者養成講座が6月4日(土)からスタートしました。本事業は、在住外国人が地元の医療機関を安心して利用できる環境整備の一環として実施しております。毎年たくさんのご応募をいただきますが、今年度は英語23名、中国語12名が受講することとなりました。

第1回目は英語と中国語の合同講義で、OIHFスタッフによる認定テストの詳細、事業概要、日本の社会保障制度等について学びました。また、第2回目以降は、医療通訳専門の講師による講義でロールプレイ等を行いながらさらに医療通訳について理解を深めます。

受講者からは、「保険制度に関して、被保険者ですが、知らなかったことをたくさん学ぶことができ、海外の方に説明できるように自分が把握しておく重要性を感じました。」「テストについては不安や緊張もありますが、コロナ禍の中対面で講座を受けられる貴重な機会を頂きましたので、多くを学び実践力を身に付けたいです。」などの感想が寄せられました。

全講座の受講を前提とし、7月9日と23日に実施する認定テストの合格を経て、OIHFの医療通訳者として認定登録される運びとなります。



ロールプレイの様子 (英語)



講座の様子 (中国語)



講座の様子 (英語)



公益財団法人 沖縄県国際交流・人材育成財団

Okinawa International Exchange & Human Resources Development Foundation (OIHF)

〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐4-2-16

HP:<https://kokusai.oihf.or.jp>

TEL:098-942-9215 FAX:098-942-9220

FB:<https://www.facebook.com/oihf60>

災害時外国人支援サポーター養成講座を実施しました



5月14日(土)から全5回からなる「災害時外国人支援サポーター養成講座」を実施し、今回30名が修了登録となりました。

OIHFのスタッフが実施した講座では、県内・国内における外国人の現状や災害時に外国人が直面する壁などを確認し、グループワークを通して理解を深め、また災害前後の心構えや「災害時にデマとどう向き合うか」によって起きる混乱や、正しい情報の大切さについて改めて考え直しました。その他、「災害時に役立つやさしい日本語講座」や「避難所運営(HUG机上)訓練」等の演習で講座を締めくくりました。

講座では2名の外部講師が登場され、琉球こころのクリニック院長の大鶴先生は、「災害時のこころのケア-DPATの現場から-」をテーマにご講演されました。東日本大震災の現場で遺族の話を聴き続ける保健師に対して「こころのケア活動」を重ね、またダイヤモンドプリンセス号でCOVID-19に対応する医療従事者のメンタル面の支援に携わってきた経験を振り返り、精神科医である自分自身も「急性ストレス性障害」となってしまったこと、災害という強いストレス下においては支援者も客観的な評価やケアを受けることの重要性を説かれました。

また、名古屋大学名誉教授の福利伸夫先生は、「温故知新と居安思危で防災対策を!」をテーマにこれまでの災禍が歴史を動かしている経緯や阪神淡路大震災後の国力の低下に触れ、今後の災害対応には、地域主体の官民が連携した取り組みの必要性や、想像力を膨らませて社会の新たな潮流を防災でも活用することが必要だと話されました。

全5回の講座を受講した参加者からは、「災害国日本であるにもかかわらず、全く具体的な視野を持ってなかったのが、講習を受けることでストック情報について改めて理解を深めると同時に新しい発見も多々あって非常に興味深かった。」や「やさしい日本語や、沖縄の状況、心構えや外国人を支援するためのシステム等を学べたこと、そして学んだことを生かす場(全部は生かせないという現実含め)があり、大変有益な場でした。」などの感想が寄せられました。

今回の登録者を加えて、198名が本島や石垣市、宮古島市に災害時外国人支援サポーターとして登録することとなりました。OIHFでは、引き続き島嶼県沖縄の地域防災力向上に向けた取り組みを続けて参りたいと思います。



避難所運営(HUG机上)訓練の様子



養成講座の様子

各支援期の実務の概要

- 1次派遣：継続的支援 (3/22~7/15)
 - 前期 (1か月半)
 - 直接支援が主。
 - ・主に避難所で、被災者に対して、こころのケアチームは直接評価・介入。
 - 後期 (2か月半)
 - 後方支援への移行期間。
 - ・主に仮設住宅で、市保健師が被災者へ継続支援できるよう訪問に同行し、共同して評価、方針を考える。
 - ・必要な知識を得るよう、適宜講義。
- 2次派遣：スポット支援 (8/21~翌年4月)
 - 後方支援を徹底。必要時に適宜講義。

National Hospital Organization RYUKYU Hospital

ウェビナーの様子



The First English and Cross-culture Webinarを 開催しました!

去る7月2日(土)に今年度初めての"THE FIRST ENGLISH AND CROSS-CULTURE WEBINAR"を開催し、参加者19名とインストラクター9名が参加しました。ウェビナーでは、参加者とインストラクターは9グループに分かれ、それぞれDISCUSSIONしたいトピックについてパワーポイント等で英語で発表しました。医学や教育、LGBTQ等多様なテーマについて、2時間程度英語で議論しました。

参加者からは、「インストラクターの方がとても優しく、間違えている表現や言い方が分からない時に正しい表現を教えてくれ、とても勉強になりました。また話している内容も固くなく、友達と話しているような感覚で話せたので緊張することなくとても楽しい時間を過ごすことが出来ました。」や「インストラクターの方の気さくな対応に加え、専門用語はできるだけ簡単に説明してくださっており、無言の時間がほとんどない、とても有意義な時間を持つことができました。」などの感想が寄せられました。

次回は10月1日(土)(募集開始:7月12日~)実施予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



Cultures

1. Have you ever had culture shock when travelling in other countries or talking with foreigners?
2. What are something that foreigners would consider normal, but Japanese people would consider it "bad manners"?
3. What are something that foreigners may find to be "bad manners" with Japanese people?
4. What are some important points when interacting cross-culturally?

外国人研究者と様々な社会的トピックに関して英語でディスカッション

ENGLISH & CROSS-CULTURE WEBINAR

参加無料
定員 20名程度

October 2022 | 8:45~12:00

JOIN US NOW!

Content:
高校生から大学生院生までを対象に、自分の考えを英語や日本語で論理的に発信できる基礎力を養うためのインプット型セミナーをZOOMで実施します。英語のセッションでは大学院の外国人研究者等が講師となりフリーカンパッションやディスカッションを行います。

How to Join:
■9月4日(日)までに、HP内のオンラインフォームからお申し込み下さい。
■定員に達し次第、募集を締め切ります。
■オンラインミーティングシステム(ZOOM)の環境をご自身で準備することが参加の要件です。

Contact : (公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団 国際交流課
TEL: 098-942-9215 HP: <https://kokusai.oihf.or.jp> Facebook: www.facebook.com/oihf60

- 募集期間
~9月4日(日)までに、HP内のオンラインフォームから申請して下さい。お申し込みください
- 定員に達し次第、募集を締め切ります。
- オンラインミーティングシステム(ZOOM)の環境をご自身で準備することが参加の要件です。

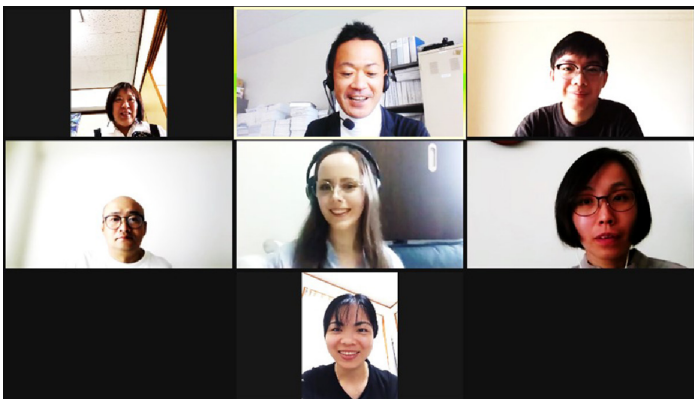
OIHF日本語教室



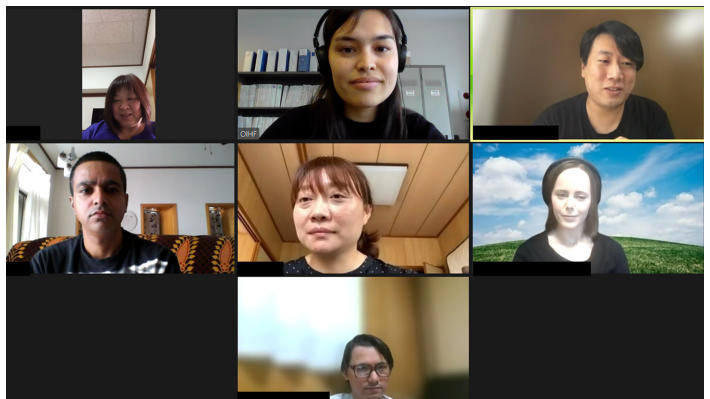
ビジネス日本語クラス

今年で2年目となるOIHFのビジネス日本語クラスを4月よりZOOMで開講しています。クラスでは、在住外国人の皆さんが日本の企業で働くことを想定し、入社時の自己紹介や電話対応、また、よく使われる尊敬語・謙譲語・丁寧語等を学びます。日本人でも難しく感じることのある敬語を一生懸命勉強している皆さんの姿勢にはすごくインスパイアされます！毎週火曜日10時からの実施となるため、参加者は多くありませんが、日本語に関心のある同士で高め合っています。ビジネス日本語を学びたい在住外国人の方がいらっしゃれば、OIHFにご連絡下さい。参加は無料ですが、OIHFが用意するオンラインプレイスメントテスト（N2レベル）に合格する必要があります。

クラスの様子①



クラスの様子②



対面日本語教室写真

対面日本語教室

対面日本語教室は、金曜日の19時～21時の2時間、OIHFの所在地である宜野湾市で実施しています。

参加者の日本語のニーズは様々で、漢字の勉強をメインにする方、文法の勉強をメインにする方など様々です。

定員は残りわずかです。ご希望の方は、お早めにお問い合わせください。



OIHF 日本語学習サポーター \ 募集中 /



在住外国人の日本語学習をサポートしていただける方を募集中です。どうぞお気軽に、クラスの見学にお越しください。

また、サポーター育成ウェビナーを開催いたします。詳細はイベント情報ページに掲載しているポスターまたは当財団ウェブサイトよりご確認ください。





東恩納 加苗 さん

こんにちは、東恩納 加苗(ひがおんな かなえ)と申します。2021年4月から日本語ボランティアをしています。大学で日本語教師の資格を取り、日本語学校で一年間教えていましたが、今は違う仕事をしています。ですが、何らかのかたちで日本語を学びたい外国人のお手伝いがしたいなと思っていました。そこで、インターネットで調べている時に当財団の日本語ボランティアに興味を持ちました。初めは自分にできるか不安もありましたが、受講者が熱心に取り組んでいる姿を見て、久しぶりに日本語教師魂(?)を揺さぶられるようでした。

私は心掛けていることがいくつかあります。①受講者一人ひとりに声を掛けることです。なかなか受講者の方から質問をしてきませんが、こちらから様子を見に行くと、いろいろと聞いてきます。時々、なかなか上

手く説明ができず、もどかしいこともありました。②話をする時には、なるべく実生活で使う言葉を使ったり、分かりやすい文法を使うようにしています。③出来るだけ日本語で説明をするようにしています。たくさん例文を出し、一緒に考えます。④必要であれば文字起こしします。それは、耳では聞き取れなかった一文字も視覚で補えるからです。すると、意味を辞書で調べたり、こういった形の動詞が使われているか、あとから復習や言い換えをすることができると思います。

残念ながら、2021年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、半分ぐらいは休講になったかと思います。それでも授業が再開され、学びに来る受講者を見ると、何か一つでもいいから日本語を覚えて帰ってほしいなと思います。

最初は受講者同士でも緊張している様子でしたが、毎週顔を合わせるようになると自然に会話が増え、学生に戻ったようでとても楽しそうです。仕事や家庭から離れて、自分の為に過ごす時間は社会人にとってはとても貴重なものだと思います。今では、インターネットを使えばすぐに翻訳ができますが、人と人の生きた会話を大切に楽しい授業をしていきたいです。



〇 メイシン さん

沖縄に来て10年、様々な教育現場に立っていた私はコロナのせいで仕事が減り、このままじゃ腕が落ちると思って、OIH日本語教室のボランティアに参加しました。様々な国の方々が参加していて、国際交流の雰囲気溢れています。

受講生からは同じ外国人として、私が最初に日本語を勉強するようになったきっかけをよく聞かれます。英語が駄目な私は大学入試のためという単純な理由でしたが、中級になったぐらいからは日本語の深さを知りつつ、その楽しさを感じました。学習者としての経験や知識を活用して、皆様の役に立つと思って今でも学び続けています。漢字を使う国同士としては確かに勉強しやすいと言えますが、反面、間違いやすいところも同様です。それは逆パターンで言えば、日本人が中国語を勉強するときにも同じだと思います。

語学教育の魅力は、単なる語学を教えるのではなく、

その国の事情や習慣を紹介するのが非常に面白いと思います。日本人から見ると当たり前のことでも、外国人から見るととても不思議なところがいっぱいあります。例えば、日本の銀行ATMは全部24時間ではないこと。まさか機械でも労働基準法に合わせて労働時間を制限するなんてありえないですね。また、21世紀の現在でも印鑑を使う習慣があることを学習者に紹介したら、「じゃあ、誰でも偽造できるんじゃない、危ないですね」と非常に心配されることもあります。

近年、人工知能技術が発達することによって、言語の壁を超えて海外旅行したり、翻訳機を使って別の国の人とコミュニケーションを取ったりして、人と人の距離が縮まっています。しばらくすると、翻訳や通訳が必要のない時代もやってくるでしょう。その中で外国語を勉強する意味がまだあるのかと私はよく考えます。したがって日本語教育が直面する問題は語学だけでなく、それに関わるあらゆる事情や日本人の価値観をどうやって学習者に伝えるかという意識改革かもしれません。

時代と共に言語は進化していきます。

ですから学習者も日本語教師も、新たな何かを見つけ出せるように頑張りましょう。

OIHFでは、無料の職業紹介サービスを提供しています

OIHFでは、在住外国人のために無料の職業紹介サービスを実施しています。OIHFのスタッフと面談した上で、どのようなお仕事に就くことができるのか、また日本語による履歴書や職務経歴書の書き方の指導やチェックを無料で受けることができます。在住外国人を対象とした求人情報は、随時専用のHPに掲載しますので、ぜひご覧下さい！

<https://kokusai.oihf.or.jp/jobs/>

検索

職業支援HPトップ



職業紹介の流れ



多文化共生推進アライアンス賛同企業・団体を募集しています！

沖縄労働局と福岡出入国在留管理局那覇支局との3者間協定を基に、OIHFでは新たなプラットフォーム(多文化共生推進アライアンス)を立ち上げ、現在、10の企業にご参画いただいております。

参画のメリット

- ・外国人材の確保支援-費用は一切かかりません。
- ・企業等に対する翻訳支援-雇用に関する重要事項を多言語翻訳し、言語の壁をなくすお手伝いをします。
- ・企業のイメージアップ-責任ある外国人労働者受入企業として認知されます。
- ・職業紹介後も加盟企業をサポート-外国人の雇用に関して企業が直面する労働や在留などに関する諸問題について、OIHFが相談窓口になります。

日本国内における高齢化や人口減に伴い人材確保が課題として取り上げられている中、今後、業種・分野を問わず外国人材の積極的な登用が必要となると見通されています。OIHFでは、企業・団体や在住外国人の皆様にとって住みやすく働きやすい環境づくりに努めて参ります。

職業支援HPトップ



OIHFでは、本プラットフォームへ参画する企業・団体を募集しています。概要等の詳細は、こちらのURLからご確認下さい。

<https://kokusai.oihf.or.jp/corporate>

検索

災害時に役立つ「やさしい日本語」セミナー
8月16日(火) 13:00~16:00

避難? 炊き出し? 余震? 液状化?

参加費用：無料
実施場所：沖縄産業支援センター 中ホール(那覇市小禄1831番地1)
募集期間：8月20日(月)~7月31日(日)
募集定員：40名程度
応募方法：OIHFのHPにあるオンラインフォームよりご応募ください。

お申込みフォーム

Contact : (公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団 国際交流課
TEL: 098-942-9215 HP: <https://kokusai.oihf.or.jp> Facebook: www.facebook.com/oihfjp

定員
40名程度

参加費
受講無料

外国人起業支援セミナー
2022 9/3 Sat. 9:00-12:00

日本でビジネスをスタートしたいと考えている外国人の方へ、会社設立に必要な手続きや注意点を学びたい方に向けたセミナーです。株式会社琉球銀行職員及び、実際に「経理・管理」の在留資格を取得した方をゲストに呼び、みなさんの疑問点にお答えします！

参加費用：無料
実施場所：沖縄産業支援センター 中ホール(那覇市小禄1831番地1)
募集期間：7月10日(日)~8月21日(日)
募集定員：20名程度
応募方法：OIHFのHPにあるオンラインフォームよりご応募ください。

お申込みフォーム

(公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団 国際交流課
Tel: 098-942-9215
HP: <https://kokusai.oihf.or.jp>
Facebook: www.facebook.com/oihfjp

定員
20名程度

参加費
受講無料

「災害時に役立つ「やさしい日本語」セミナー

募集期間 ~ 2022年 7月31日 (日)
実施日時 2022年 8月16日 (火) 13:00~16:00
場 所 沖縄産業支援センター 中ホール (那覇市小禄1831番地1)
参加方法 オンラインフォームからお申込みください。

「外国人起業支援セミナー」参加者募集

募集期間 ~ 2022年8月21日 (日)
実施日時 2022年 9月3日 (土) 9:00~12:00 (受付: 8:45~)
場 所 沖縄産業支援センター 研修室中 (那覇市小禄1831番地1)
参加方法 実施要領の内容をご確認の上、オンラインフォームから申請して下さい。

国際理解・国際協力のための
中学生作文コンテスト
沖縄県予選
作品募集
2022年 9月5日(月) 16時必着

目的 国際連合についての作文を通して、国際理解・国際協力について考える

テーマ いずれか1つを選択
1 持続可能な開発目標(SDGs)の中で一つ目標を選べたら、どのような理由でどの目標を選ぶか、また、その目標をどのように達成するか。
2 今回の国連に向かっているのか。
3 争いや差別のない世界にするために国連と私たちができること。

応募方法 HPをチェック! >>> <https://kokusai.oihf.or.jp/> OIHF QRコード

主催・(公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団(OIHF)
TEL: 098-942-9215 E-mail: kokusai2@oihf.or.jp HP: <https://kokusai.oihf.or.jp/>

国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト沖縄県予選

募集期間 ~ 2022年9月5日 (月)
参加方法 オンラインフォームに必要事項を入力し、原稿をアップロードして下さい。

国際理解・国際協力のための
高校生の主張コンクール
沖縄県地方大会
弁士募集
2022年8月31日 16時必着

目的 国際連合に関する高校生の主張を通して、国際理解・国際協力について考える

テーマ いずれか1つを選択
1 持続可能な開発目標(SDGs)の中で一つ目標を選べたら、どのような理由でどの目標を選ぶか、また、その目標をどのように達成するか。
2 今回の国際連合の中で、議論は何かできるか(国連に何が求められているのか)。
3 人種には種別ない言葉があり、様々な権利がある。国際社会が直面する課題が多様化する中で、国連が特に取り組んでいくべき人権の権利は何ですか?

応募 2022年9月10日(土) 13:30~16:00
会場 P's Square 浦添市西原2丁目4番1号
※観覧できる人数に限りがあります。
応募方法 HPをチェック! >>> <https://kokusai.oihf.or.jp/> OIHF QRコード

主催・(公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団(OIHF)
TEL: 098-942-9215 E-mail: kokusai2@oihf.or.jp HP: <https://kokusai.oihf.or.jp/>

国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール沖縄県地方大会

募集期間 ~ 2022年 8月31日 (水)
実施日時 2022年9月10日(土) 13:30~16:00
場 所 P's Square(浦添市西原2丁目4番1号)
参加方法 オンラインフォームに必要事項を入力し、原稿をアップロードして下さい。

OIHFで 日本語を べんきょうしませんか？

就職や日常生活において、日本語能力の習得を必要とする県内在住外国人の方を対象に無料で日本語教室を開講しています。3つのクラス中から、レベルやニーズにあったものを1つ選択していただけます。

*技能実習生の監理団体や受入れ機関からの申込みは対象外です。

OIHFで日本語をべんきょうしませんか？
沖縄に住んでいる外国人で日本語を勉強したい方にお知らせください！

無料です。
全クラス定員があります。申し込みはお早めに！

1 ビジネス日本語 実施期間 2022年4月12日(水)～2023年3月7日(水) 開講曜日 毎週火曜日 講座時間 10:00～12:00(2h) 実施場所 ZOOM	2 日常生活に必要な日本語基礎 実施期間 2022年4月22日(金)～2023年3月3日(金) 開講曜日 別途指定する金曜日(予定あり) 講座時間 19:00～21:00(2h) 実施場所 OIHF内3階ホール(定員20名程度(先着順))	3 日本語サポーター個別クラス 実施期間 2022年4月18日(月)～2023年3月3日(金) 開講日時 平日7:00～19:00の間で、希望する日時(月4回が上限/1回40分) 実施場所 ZOOM 実施方法 生徒の希望する日時や内容に応じて、船旅でできます。
--	--	---

お問い合わせ先 (公財)沖縄県国際交流・人材育成財団(OIHF) 国際交流課 TEL: 098-940-0215 E-mail: ikuusai@oihf.or.jp

クラスの詳細

- ビジネス日本語 (JLPT N1 ~ N2 程度)**
 開講日時: 毎週火曜日 10:00 ~ 12:00 (月3 ~ 4回程度)
 実施場所: ZOOM
- 日常生活に必要な日本語基礎 (JLPT N3 ~ N4 程度)**
 別途指定する金曜日 19:00 ~ 21:00 (月3回程度)
 実施場所: OIHF 内3階ホール
- 日本語サポーター個別クラス (初級 ~ 上級)**
 開講日時: 平日 7:00 ~ 19:00 の間で、希望する日時 (月4回が上限 / 1回 40分)
 実施場所: ZOOM

OIHFでは生活相談窓口を開設しています！

OIHFでは、無料かつ多言語で相談することができる「生活相談窓口」を開設しています。労働問題や在留資格、結婚や離婚など、幅広い相談に対応しますので、困りごとがありましたらOIHFに相談して下さい。

外国人皆さんの悩みを解決することができるよう、OIHFでは名前や在留資格等の個人情報をはじめ、時にはプライベートなことなど細かいことまで質問しなければならないと考えています。

他方、相談者の中には細かい情報を教えたくないと考えている人がいることも理解しています。「OIHFに詳しい情報を教えると、自分が不利になるのではないか」「自分の身元が相手方に判明してしまうのではないか」と心配する方がいますが、OIHFでは守秘義務を守りますので、安心して下さい。

一番良いのは、問題が大きくなるうちに、OIHFに相談して下さい。



OIHF法人賛助会員様



沖縄ツーリスト

沖縄県商工会
連合会

パシフィックホテル
沖縄

(順不同)